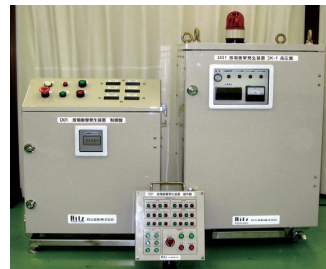


放電破碎工法

NETIS:KK-050047-A

放電破碎工法は、電気の力を活用して岩盤やコンクリート等を破碎する非発破工法です。ブレーカ工法のような連続騒音や粉塵が発生せず、火薬類取締法による規制を受けないので市街地で容易に施工が行えます。また、狭隘部の施工や高精度な制御破碎にも適しています。

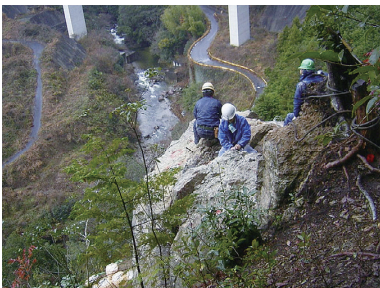
市街地などで周辺住民への騒音・振動など環境面の制約が厳しくなりつつあり、環境にやさしい放電破碎工法は安全で環境負荷の小さい工法として注目されています。さらに、可搬型の装置が完成し、防災や災害時復旧で活用も期待されています。



放電破碎装置

担当部署 海洋防災ソリューション統括部 放電破碎グループ 担当者 山本・田中 Tel 03-6404-0813

放電破碎工法の用途例



高所での岩盤破碎



狭隘部での制御破碎



市中での基礎解体